



四 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
---

\$

.

ノス括=此所具下、「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」		
	大し国封シ町ア其慶酒/强弱多火並ニ其 、人し国封シ町ア其慶酒/强弱多火並ニ其 、大川町、「「「「「「「「「」」」」」 、大川町、「」」」 、大川町、「」」」 、大川町、「」」」 、本村二、「」」」 、大川町、「」」」 、「」」」 、大川町、「」」」 、大川町、「」」」 、大川町、「」」」 、大川町、「」」」 、大川町、「」」」 、大川町、「」」」 、大川町、「」」」 、丁丁丁、「」」」 、丁丁丁、「」」」 、丁丁丁、「」」」 、丁丁丁、「」」」 、丁丁丁、「」」」 、丁丁丁、「」」」 、丁丁丁、「」」」 、丁丁丁、「」」 「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 、丁丁丁、「」」 「」」 「」、「」」 「」」 「」、「」」 「」」 「」、「」」 「」」	是「「アスペルマセル蘭」「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」

1	1		And the second s	
主治葉都滑ニメ收審ス胸ラ利シ肺ラ和シ效嗽ニ光澤ナリ灰白ノ者アリ國國	水邊濕地=生又〇一種山生ノモノアリ花淡紫葉、 アリ根柔白。細長土中=滋蔓、莖葉根E=味微苦 竹根養ヲ為シ邊=細鋸齒アリ。面緑背白ノメ毛茸	八款冬葉ト髣髴氣味亦相似タリ各長梗アリテ毛葉著の花莖圧ニ速ニ枯レ其後七八葉叢生ス嫩葉	島ニ個シノ赤	形状熟失刺獲、款冬ノ一種ナリ春月數並ヲ抽てシお来朝越ニ似タリ功邊爾能型ノ如シシンテンテンテンテンテンテンテンテンテンテンテンテンテンテンテンテンテンテン

ent

土泉

63.

ス 刷シ或ハ肺炊衛胸肠痛或ハ喘急聲嗄及ビ肩寒傷 侵刺シ發スル痰致或 峻効アリ殊ニ肺塵損シ或 冷毒等ノ粘痰ヲ化ノ略易カラシメ一切肺病 ノ勞察トナルベキ症三偉効ヲ稱シ或ハ肺瘍ヲ淨 甚 膿ノ成 鴉い此葉ヲ水ニ浸メ服シ或い此草ノ絞 ○瘰癧毒ヲ夾ム肺瘍ノ膿腫肺中ニ硬結シ ル要葉トスの總テ瘰癧毒アル諸症ノ ダ験 シ終ニ勞療トナル症ニ アリ 幾那ラ用 えい 个肺 ヒテ効ナキ症ニ開 傷乾 八氣管脆 効アリ 教勞 歌或 弱ニノ酷属液 ○瘰癧ノ潰 良樂 汁 八彩 大 うべき ヲ服 効ア 液 トス ヌ 質 治

杳 禁ラ長 ヲ 眼及ビ殿濃瘍ヲ生シ其他療療毒ノ諸 윆 浸シ或、泡劑トシ或、未トシ沙糖, 丁幾去爾或ハ 利別トシ用フの生葉ヲ取り 以テ煎シ减ノ半比トシ用フ或ハ幾那或 瘰癧毒ア 油 頭林裂等=貼メ疾ノ甘メ毒 オレ 服 用 海水 メ殊効アリ〇此葉一ろヲ取 ル小兒腹肚膨脹顏面 ウ 著草等ヲ加 4 カレイヌや X 7 通 へ用ヒテ良の或い 1 炊腫熱性 ルリ ヲ消ス 黪 澹 羅 ノ潰 症 杨伍 1 灰 かへ或 水 緑 7 家依 瘍火 色或 ル 福 い鐵 北半 八此 水 ハ 傷 舍 -

らら

S

勿ち

in the

内テ菌痛ヲ治ス是レ菌神經ヲ侵蝕メ 記まる 油或い丁香ノ越幾斯劑ヲ加 菓益智胡椒等ノ蒸餾油モ亦此製法ト同 >偽り取り者ナリ〇肉豆蔻桂,府利 昏官胃虛冷痛寒丸子宮街逆經閉 主治脳心胃子宮神經习强健ニシ呃逆ノ 製法 レバ 一二滴ヨリ四滴二至儿〇此油ヲ綿 ス斯 汉 其露水二交テ底二沉」。是习悉契瓦 她管月屬シ沙火ヲ以テ其水ノ半ヲ蒸 北水 右 色鮮明ニメ制厚ナラズ芳烈ナルヲ擇ム ノ其油ヲ取リ硝子壜=入レ固封シ貯 揚テ粗碎トシ雄 二入 ノ暗黑色舌=觸テ辛辣焼が如り 二丁香ヲ加へ後蒸餾ノ油ヲ取ルヿ前法 四度慶二置き淹ス门五日硝子ノ格 + 1 出考 **淮**語 ヨ治ス國 リ〇是ヺ舌ニ 丁香 分量適宜 如ノ数田メ多ク油ヲ取ルベシの 老 塗テ古神經 レ適宜ニ水ヲ へ或 ノ衝 = 驗 1 25 薩" 粘 -= 滴 + 刺 麻 動健 アリ 撒 稠 加 兒心 ル 斯 餾 治 I 弗剌 弗 痺 シ シ 此 7 ス = 雪雪龍 谢; 運シ 被取 油 シ失氣 香或 油 的 七 1 服量 斯。 西庆 7 如 草 舌 露 油。 和 対ジ 分 ム -北丁 白 1

非カナギロシン

那

主治小畜油

言

	· · ·	利	ATT	F.	Start Start
1月ませ、皮膚=貼スレバ優蝕メ泡え發ス着キ香り是,一般,一味辛熱=メ佳ナラス舌=侵刺メ速=生治性焚熱シ酷魔ナル揮發盛及ビ蜜透ノ油魚ア	○上品八黄白色乾周ノ碎ケ易ク	能骨木脂 エウボルビウ 金羅向和	年山病二良歌アリ国 王治白罌粟舎利引ト過爾託亞舎利引トノ主治ニ	雨託亞舎利別 各等分	製法 薄荷油製法ト同シ王治苗香油ト同シ展新離油 ボーリイ・ハンチルレシ酸

Nec

		2 - 2	
たいろうち、いい、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	> 緩和ノ朝三加へ與フベン○嚏藥トノ峻ノ、近天半氏ヲ與引ノ大ニ重ヲ發シ頭中ノ惡、 お症ニ捷効アリ然 氏過用スレン しまキムヲ與引ノ大ニ重ヲ發シ頭中ノ惡	へス此源	能停水。粘稠人污液ヲ湯下シ又稠厚ノ血液ヲ溶解 與ナシ○峻攻ノ下劑トス僅ニ半氏ヲ服スレバ留

A.

1

1º

逐天故 = 飲食消化ヲ助ケテ良液ヲ生シ萎黄病及 延天故 = 飲食消化ヲ助ケテ良液ヲ生シ萎黄病及 「要」 方際 一北 要」 一次 一次 一般 一 要」 一 「」 要」 一 「」 要」 一 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	右文火 三上な陳和之軟膏下作入國國 中国之 監査 二分者 御法 監會 二分者 御殿湯 一發 和別以許予加テ九樂下為又國國 主務者 利別以許予加テ九樂下為又國國 主治 胃及三勝ラ健運之大便ヲ利又錢下以民劑下 主治 胃及三勝ラ健運之大便ヲ利又錢下以民劑下
---	---

Kitasato Memorial Medical Library

. -

.

	1
白黑ノ三種アリ○第二種ハ其樹枝柔撓=ノ皮褐白黑ノ三種アリ○第二種ハ共樹枝, 如シ地ノ肥瘠= 隆テー様ナラズ花 「「赤色透亮光澤アリ軟=メ汁多ノ酸甘葡萄汁ノ 如久清葵賞スペシ圓核多ン○第二種ハ形状前種 ノ如ノメ樹差高ノ葉背毛茸アリ。予黑色=ノ皮褐 ()、赤色透亮光澤アリ軟=メ汁多ノ酸甘葡萄汁ノ 加久清葵賞スペシ圓核多ン○第二種ハ形状前種 ノ如ノメ樹差高/葉背毛茸アリ。予黑色=ノ皮褐	和シ是う重湯下房ン沙糖ヨノ烊化スレニ至テ沫 「「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」

.

渡田 NA. 1 主治子赤色ノ者ヲ藥用トス清涼滋潤シ 4 ナ 2、子甘味ノ者アリ 随風 2赤クメ味酸花帶赤色ノ者アリ或ハ葉多ク 同フノ子差大ノ白色透亮或ハ淡黄味蔹甘或ハ甚 地 又 園=培養シ或,枝條密茂スルヲ以テ藩離 花多八寶火シーハ花火ノ實ヲ結バ 淡白ナリ但是ニ三種アリーハ花寶氏 1] ル硬 似 酸或、過ダ甘シ其樹前種ニ比スレバ高ク枝葉 子桑椹。蓬藥越橋等ラ代用スベシ 嫩枝ヲ持テ速ニ長育シ當年子ヲ結ブ但五六 テ 經 ラズ或 0 水 故二栗愛子二充ラズ二月、州南 榕 タリ然用子攢簇セズ唯葉開二三顆宛生ン 邊=生スの又一種多少子ヲ結ビ大 榛子 嫩苗下為スニ宜ンの第二種第三種ハ花 按二此 レバ子ヲ結ブリ以ノ味亦惡キ故ニ每年枝 一切壯熱病炊街ノ諸症ニ用ヒテ血 クメ 透亮ナラズ味亦酸甘ナラズ 接三林ヒョドリゼウジカ い花赤色ナルアリ〇第三種モ 老う 樹和漢産未ダ詳ナラ 衝 坊 產灌 ズ但覆盆 大 ズ〇第 名 抵 二多之 ~ 亦前 解 液 > 栗 性 發 澁 ノ熱燥 蹩子 子懸 熱 一種 = 作 功 野 種 同 7 劾 う 濕 年 頗 鉤 ヨ ナ P 如 1) 1 21 1

長ちろ

東京子宗がし、 東愛子保川し、 「東愛子保川し」」「「「「「「「」」」」」」」 「「「「「「」」」」」」 「「「「「」」」」」」	●潤シ湯ヲ止メ心胃ヲ爽京ニス○尤腐敗ヲ遏ル シ潤シ湯ヲ止メ心胃ヲ爽京ニス○尤腐敗ヲ遏ル かで見別ヲルメ成ハ赤痢吐血。霍亂等ニ用テ熱、 解シ煩問ヲ消ス或ハ豪痢、吐血。霍亂等ニ用テ熱、 勝ニ供ス或ハ赤痢、吐血。霍亂等ニ用テ熱、 勝ニ供ス或ハ赤痢、吐血。霍亂等ニ用テ熱、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、

.

遠 栗り用 出して町 阿力 栗蹩子舍 利藏蘭 麥煮汁十五ろ 主治架燈子=說り所ト同 ル 子ノ汁火キ者ハ子=水少許 子見 油二充 實ナリ土人是ヲ推テ油ヲ取リ樂用及 一至り篩二入レ前法 樹 綱 1 1) 7. 油=供シ又四方=貨ス和蘭=テ此油 E (按三阿利機、西洋諸地三産スルー種喬木 目篤 オーリイト名り左二舉 切 テ 物 俗間藥舗ホルトガルノ油上呼び〇平賀過 ヲ 設せ尤 好 以 才 利 類 良 爾儿 品 テ 1) 別 又膽八 耨香ノ附録ニ 弗7 伍叔 ハアン 陽並ニ小 庆 製法主治覆盆 二和 本邦豆州等三產 栗蹩子傑列 74 樹チバラ阿 羅オレア山 シ服メ前説 野蘭山翁人本草啓蒙三時 出 ノ、如り製 ル膽 ル阿利被油ナ シの此劑半ろヲ オ ヨか 甸樹ノ 利 4 舎 21 \* スルフ 利 八香习以テ 襪樹 = 充 諸 ス 煎熟こ 同 へ煮テ子 別 一清 ベシ へボ 症 r シ 同 二飲 リ 1 7 E 満 技 7 シ オ 飲膳 船来 阿小 破 \* 又 取 統 レイ 云、ル 利行 1) 燈 溪 P ス 珍, 薇 1 大 3

-		1										(遺)								1		
	如シ乃テ阿利襪樹ノ形狀並二其油ノ製法主治	ノ肉盡ノ油トナルコ左ノ阿利機油譯說三速ル	下下	即	草啓蒙ニ云ク核中ニ仁アリ是ヲ搾リテ油ヲ取	ヲ探リタル者所謂ホルトカルノ油ナリト又本	詳ナラズ又物類品に二云ノ此實ノ仁ノ取テ油	性ノ興ナルニ由テ其實ニ油ヲ生セサルカ未ダ	或い左ノ譯說三載ルー種野生ノ者カ若ノハ地	テ油魚ナシ然レバハボリハ阿利機樹ニ非ルカ		出ルフナシ是ニ火ヲ黙シ或ハ煎熬シ試ルニ絶	入レ推り試馬三唯海味ノ稀汁出ルノシニテ油	いボッノ熟實並二未熟ノ者ヲ多以得テ數推三	片皆鮮紅色トナル又壬午ノ春酸州及ビ豆州ノ	シ且、紅色トナラズハボソハ葉互生シス葉落ル	ノ形状大抵相似タレモ但阿利機樹ノ葉ハ對生	ヲ以テ阿利襪樹ノ説ニ較考スレバ其樹葉花實	州シラキ」州ハボツ豆 ト云、今豆州産ノハボン	啓蒙=云此樹 本邦暖地=多シ俗名ツリノキ	樹二充ツ物類品際ニ云紀伊方言ックノ水本草	三日子 考丁 二 軍雪雪沸
								-														

r

卵ノ如ク或ハ解實ノ如シ形チ或ハ國キア川或ハ卵ノ如ク或ハ解實ノ如シ形チ或ハ國キア川有回家之實三油少之③此樹意太里亞一個一野種ノ幹三接ゲバハ九年二又買ヲ結ブ、皆油ヲ取野種ノ幹三接ゲバハ九年二又買ヲ結ブ、皆油ヲ取		第フ記ノ考證=備スには二月里」」 第フ記ノ考證=備スには二月里」」 「一月」」 「一一一一一一一一一一
	100	

N. I			1
清遊澈ノ水川如シ又味遊敗セズ香味好り濁緑稠補ニ入レ令ル窖ニ貯ノベシ〇新鮮上好ノ油ハ澄許ヲ經レバ渣進生スル故ニ其時。上将ノ油ハ澄	上品トス別= 貯ノベシ〇其次=强ノ推テ出し、業用=堪へズ〇其次=尚强ノ推テ出のレバ氣味労レリ濃黄曇濁=ノハ淡黄色=メ緑ノ帯ブ是モ亦多ノ用フ然	り成い数黄水美好ニノ甘戸常で住香アリ成云香	シ微黑色ナル片晴天ノ早朝-シ、な月、1、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、11、

E

○油濁ルド、天日或、火二元端,油湯ヲ加 、登、其塗濁ヲ去り湯ヲ加テ攬液シ其湯ヲ余、 要子油ヲ風日ニ要子油ヲ以テ此油ニ傷り取り 、シ○姦商、罌要子油ヲ以テ此油ニ傷り取り 、シン○姦商、罌要子油ヲ以テ此油ニ傷り取り 、シン○姦商、罌要子油ヲ以テ此油ニ傷り取り 、シン○姦商、罌要子油ヲ以テ此油ニ傷り取り 、シン○姦商、罌要子油ヲ以テ此油ニ傷り取り 、シン○姦商、罌要子油ヲ以テ此油ニ傷り取り 、シン○姦商、罌要子油ヲ以テ此油ニ傷り取り 、シン○海」、加ノソ洗準シ澁味畫タ除ノニ至ル ノ如シ是ヲ燃スニ酸鮮明ナラス、阿利機油ニ若カズ、 酸リエア 、シ、」、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	建西谷牧米、 建西谷牧米、 ないたい、「「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」

10.00	a change		1	and the second second	100 million (1997)	-		and a later	- and the second	linear strain	 1.1.1.4		10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-1	Children and State	Contraction of the	14.1.2		11 - 11 - 11/					5104
	> 劉症,發スルが如キハ此油,多服シテ速効	アリルソ亞見加利鹽毒或小客石。升汞膽礬等又服	酷烈刺戦ノ毒ラ包攝甘和スルテ以テ諸中毒三効	参根末,可此油二加へ沙糖,参シ用にテ効多シ()	通利セシムの虚症ノ下利赤痢=肉豆遠末或い拳	油二投之浸又每朝空心三用山、能久燥保,軟分	症=蒸餅一片ヲ取リヨク灸リ是ヲ上好ノ阿利	i	催睡鎮痛、劑ヲ用ヒテ功ナキ症モ間治スルファ	版良驗			ヲ難子黄三研和シ水ヲ加テ乳汁ノ如クシ用と	階液ノ酷属毒与リ起い劇き腹痛孽急痛等 ·此油	用ノ〇	と粘痰 ア化シ就嗽喘急聲嗄等 ア治ス。此油 = 沙	○肺氣管メ狷利シ咽喉口舌メ	ム故ニ諸疝淋疾赤痢等ノ劇痛月消シ燥尿メ軟	キ堅硬ヌ柔ラゲ痙攣ヌ鎮メ内藏ノ刺或疼痛ヲ止	緩和ノ功	其疑テ戰脂ノ如キ者ハ藥用二堪へズ、愛テ戰脂ノ如シ是ヲ豆傷滓操ト云	かルノ油、一種アリーハ登青、色白シトの江户藥師清雅樂只	+六 一 庫
ž,	効ア	又服	云劾	2 Q	小拳	軟ゲ	利薇	シル	秋天	不止	·	1	ヒテ	此油	霍亂。	沙糖	滋潤	軟ゲ	ヲ止	ヲ解	4	一船如来	一調

-

夏屋ち 和テ及メの油ル治 ルベ利二强和ラス或ルゴ
1、一個、一個、一個、 1、一一一一、 1、一一一一、 1、一一一一、 1、一一一、 1、一一一、 1、一一一、 1、一一一一、 1、一一一一、 1、一一一、 1、一一一、 1、一一一、 1、一一一、 1、一一一、 1、一一一、 1、一一一、 1、一一、 1、一一、 1、一一、 1、一一、 1、一一、 1、一一、 1、一一、 1、一一、 1、 1、一、 1、一、 1、一、 1、 1
1 國家用 〇 含 硝 代 桃 化 結 耳 人 目 慶 目 酷 修 想 在

١		
「長ちちかち」、「「、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「、」、「」、「「「「「」、「「、」、「「「「、」、「」、「	南京等ラ治ス◎服量半銭ヨリー錢許舎利 教女,取, 四, 一,	「東法」醋」した 「「「」」」」」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」」 「」」」 「」」」 「」 「

38 . 2

1

4

加 力口力 密ジ 後多ク 微ニメ性功劣レ 辦 設也 白色ノ者アリ 朝 F 經天 ノ香 霧草= 狀此 細 加 列レ ħ 名劣 云松香人自然三滴歷义鮮白微黄污物 G 顆粒ノ為ス者亦「マーロークト名」代用 妙的 者アリ軍辨ノ 氣 キ 密 ヨッ 强 蘭 按三此物 草 槽 P 列ナリニ種氏 壯 圓莖叢生スルリーニス許枝多ッ 似 圓ノ ニス リ根細 モカ 揮發麗及ご油魚多 い読いた 種ア テ緑色夏月枝頭= 取 ź E 黄柳 苦! 庚辰 一門家 細子ヲ結ブ花葉モニ味苦 性 IL z リ。皆辨 リーハ尋常加 ク鬚多シ原野或 ラル 功大抵乳香卜同之代用 伍 者アリ リランマ =藥用十 陳爛尹率除 与良肉 者 ノ端 7 2 000 A 或 見 如 羅 \$100 刻鉄シ緑萼鱗次ス シール 1 1121 14: + Mg ス カカ 商 黄心白 小 密 = 白色 ハ 黄花簇 0 列 次裔 ž 九 耕 葬 + L P 地 辦或 )) 常ノ 崩カ ノ者ハ香 颜 葉 ))] スベ + シメ富 生 ヲ雜 スベ 一八 言語の記したの 生 ス但重 品 八重 細 ス宿 羅 裂 シ戻 2 17 花 透 辨 味 1.1 春 謨 t ズ

ノリー三種ノステン 車ノの東アイボン 車ノの東アイボン 車ノの東アイボン 車ノのアイボン 二ノー種 加ノアキャー 車加ノアキャー 本 一 車加ノアキャー 本 本 本 本 本 二 一 本 本 本 大 大 大 一 本 本 本 大 大 一 本 本 本 大 二 一 本 本 大 二 一 本 本 大 二 一 本 本 大 二 一 本 本 大 二 一 本 本 大 二 一 本 本 大 二 一 本 本 二 二 一 本 本 二 二 一 本 本 二 二 一 本 本 二 二 二 二 一 本 本 二 二 二 一 本 本 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二						17 17		14	
葉生尋色葉三レセハ色 トガノ白癬ダ尤ノヌ着 線ス常大手種バズ尋軟 名為者ノナ稠强如生产	3 1	1 1 0 ;	厚ク灰白。花八前種ノ如クシームキブルームト名ク藍細クラークデルレント名ク藍細クラークデルレント名ク藍細クラークデルレント名ク奏常ノロ	馬ノ葉 亦大ニノ	子院一下をため、	グ其第一種ハスチンケンジャットセズ形状相似テロ	リ氣味大抵前種上同シ●山或、藍、藍細ク柔脱ニメ地ニョ	其氣久り消セズ此一種重地大りの花亦前種下同フノ味	
	北三方之言祭三ノ亥武	四二 最い実家 小川史	黄蒿第スレ	根セズの新二メ	10 118.0	い為三是	其他野生ノ者三種アリノモニメ辨ナキ者アリ	新白色甚ダ稠密ニノ黄苦ノ香氣尤强シ乾セ モス葉前種ノダクニメ差	

11

· 麻豆、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一、 一																			
アテアリートス是マホーションジャーションジャーションジャーションジャーションジャーションション、 一一二、 一一二、 一一二、 一一二、 一一二、 一一二、 一一二、 一一	或八五弓の日=三四次用フ〇往古未ダ幾那ヲ用と 夏西年北考 老が 王 用雲堂號	今時モ其毒深り潜滞セズ其熱甚ダ頑固ナラザルザル項ハ加密列ヲ用テ峻効アル驅熱剤トス故ニ	症い幾那=勝リテ効アリトス是ヲ末トシ或ハ水	=浸シ或ハ泡劑トシ用と或ハ幾那網草等ラ加へ	水煎シ用フ〇痙攣ノ諸症ヲ治シ疼痛ヲ止ルニ良	効アリ水煎或、泡劑浸劑トソ内服シ或、葡萄酒	ヲ加テ蒸湯劑トシ或、琶布或、吉利詞爹兒トシ	ノ皆良故ニ又子宮衝逆ノ	い腎痛淋疾痛或、孕婦臨月=發スル臨産痛ノ如	キ腹痛或八產後腹痛等、酸アリの痛風走注痛傷	爾ラ加テ用と或、是ヲ外敷スルを良○下痛等ノ炊衝ナキ症ニ泡劑或、浸劑トン或	朝二多ク用フ病ノ腹痛頑固ニノ休ザル	剤トン	弱色	治ス	許三加へ用テ偉効アリ或、是三傷冷毒ヲ兼	汗	故	

服スルニ是ノ前萄酒等ニ浸シ含漱ノ治ス (足ノ	弱ニ属スル咽喉口中焮腫或、懸壅垂ノ緩弛ノ腫 寒寒疽ニ此末ヲ擦シ瘻磨或ハ臭機ノ鼻瘍ハ水気 、削樹皮ノ煎汁ニ是ラ加へ蒸湯メ良① たり町フレバ金夏腐敗セスト云故ニ腐敗ノ潰瘍	遊西谷牧夫 ちゃ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

\*

					·
~ 臣去シジ火ニ入レ餃テ油ヲ取り放冷ノ其稠厚	ノ解ヲ去リ黄心ヲ取リ硝子曇ニ入レ油ヲ阿利機油 ニ北	レウムのモミルラデコクなム	ッ閉塞ヲ開キ汗ヲ發ス服量五六滴ヨリ十滴=至,一,油。僅二三,可許出ツ故ニ多,、加密列煎油ヲ代	色大川但油ヲ得ル丁医ダ火シア	メ良の羅漢設加密列小生功を成为り次三季常ノ ある和シニ個ノ布袋ニ入レ更換シ温メテ患部ニ 大麥粉 握 一週布袋ニ入レ更換シ温メテ患部ニ

漸生こう 杉田成響差課	蘭學佩鶴同上	山东	同補遺同	速西醫方名物考風上	增補和蘭樂鏡 四上	同 内象銅版圖 同生	内景醫範提調 醫書 筆
全明青義間、小浅草著町丁目 須原屋伊、初篇二篇病學通 論 新季町丁目	全一帖西 音發微大響弊差著 全二册 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	全四册醫方 研 幾 無羅足主生著 每篇三册苑	金九型要術知新 人響幹先去者	金手前表、西名殿曾原講祭川等作霍著全八册	金大冊段四 療 正 始 州齋伊東先生著每福三册篇	全的舍密開宗 四上 每篇三册完	著全丽,理學植學啓原等前務應差委三冊,理書發行目銷

